

## IH予選男女個人 女子歴代最高「全員剣道」で県大会第5位入賞 6/19

関東予選の忘れ物を獲るために稽古に励み、熾烈な部内選考を勝ち上がった4人は全て3年だった。上がれなかった3年2人の思いも背負って臨んだ大会当日、男子234名、女子188名の参加者、4人とも磐石な面持ち。経験が心を強くする。4人とも勝つのが1番難しい初戦を突破した。正直監督として、ここまで完璧な立ち上がりは初めてだった。

男子、上村初戦快勝、最初の山場2回戦目坂戸西戦。近年実力をつけ、苦戦が予想されると共に、青山が審判と重なり監督席につけない。そんな逆境をはねのけた上村は時間内に出鼻面一本あり。見事な勝利であった。その後昨年度IH個人出場者と藤(川越)に一本負けではあったが、見事な3回戦進出であった。続く小澤の初戦、延長になるが、小手返し面で勝利。2回戦も快勝。3回戦対杉山(城北埼玉)。相手が強いことはわかってる。しかし西武台大将の矜持を持って臨んだ。見事な引き胴で応援を湧かせるも引き面を打たれ一本負け。団体での雪辱を誓った。女子、遠藤初戦二本勝ち快勝。2回戦目顔馴染み鳥越(浦和実業) こういう相手に意に反して敗北することが剣道にはよくある。しかし試合開始1分頃で小手返し面で一本、直後懐に入り込み出小手で二本勝ち。一切寄せ付けなかった。3回戦も快勝。絶好調。続く4回戦対吉澤(春日部女子)、遠藤の小手返し面で応援が盛り上がるが旗は上がらず、延長に入り相手の勝負の引き面が奇しくも決まってしまう。悔しい。でも立派な勝ち上がりです。続く福井、初戦の浦和北快勝。2回戦目矢島(浦和実業)この日の山場、手の内を知る相手に時間内で決まらず延長へ。最後は片手面对出小手で片手面の勝利。ここで勢いに乗り菊池(東農大三)、斎藤(昌平)に勝利し、気づけばベスト8。最後は優勝者樋口(星野)に一本負けしたが見事な第5位入賞。中学で剣道を始め、中学時代県大会に行ったことのない子が県大会で6回戦準々決勝に進み「先生、ここまで連れてきてくれてありがとうございます」と閉会式前に言った。



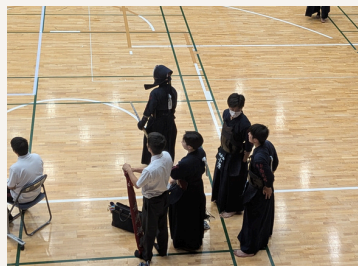
▲表彰式後の福井萌夏(3年:川口芝東中)



▲早朝1番で会場に並ぶ「5人目の選手」



▲集合写真



▲「全員剣道」で戦うチーム西武台



▲勝利を分かち合う三女達

## IH予選男子団体 頼りになる「兄達」 6/22

男子団体、西武台は体調不良者が2名出るがチームに動揺はなかった。初戦は東農大三高、先鋒赤泊、次鋒河口は一年生ながら出場するも二人とも二本負けを喫する。そんな可愛い弟達の悔しい敗戦をなんとかするのが兄、中堅上村はこの日のために竹刀を振ってきた。守る相手を果敢に攻め立てる。防戦一方の相手に時間空費の反則。攻める手を緩めない上村、立て続けに2本の出鼻の片手面が決まった。続く見澤も攻めるが悔しくも出鼻小手を打たれ二本負け。チームの敗北が決まってしまった。だからといって試合を投げ出す小澤ではない。これが「西武台男子」と言わんばかりの強い崩し、強く速い引き技、誤魔化さないしっかりと振る技で攻め小澤の面あり。結果一本勝ち。敗北こそしたが頼りになる兄達が弟達に強さは稽古で作るのだと背中中で語った。弥真斗、耕生、そして芯弥強くなった。



▲選手、マネージャー、監督と保護者、OB

## 監督謝辞

剣道歴27年の人生で1番剣道をした。だってお前たちとやる剣道が楽しかった。弥真斗には努力を継続する意思を、耕生には指導理念を、芯弥には技を、里紗には選手への信頼を、萌夏には上段の可能性を、青空に心の繊細さを、ゆいからは献身を、あずさからは癒しを覚えてもらった。ありがとう。



## IH予選女子団体 「3女達」ありがとう 6/23

西武台の初戦は浦和実業、上段2人が活躍する。先鋒山城、抜き面と努力で磨いた出鼻の諸手小手で二本勝ち、次鋒、中堅が分けて副将福井が返し面で一本勝ちで勝負あり。続く久喜北陽戦先鋒山城が二本打たれる。次鋒猪ノ口、中堅小谷田は善戦し分け。副将福井が別れ際の引き面、抜き面で二本勝ち。フラットな大将戦で遠藤が攻め立て面で一本先取るが相手も強者で返され代表戦。西武台は福井。福井が攻め続け、相手の手元が浮く。相面の勝者は福井の片手面。西武台応援席はこの日一番の歓声。ベスト8がけは選抜予選2位で全国選抜出場の昌平。先鋒山城、次鋒猪ノ口が一本ずつ打たれる。中堅小谷田も動きが固く、居着いたところを打たれる。こんなもんじゃない。鬼攻めの小谷田、執念で出鼻面を打つ。なんとか副将に繋いだ。副将福井は勝利必須。なんとかでも諸手の面で一本勝ち。なんとか大将に繋いだ。しかし大将も強者。勝負をしてこない。難しい。虚しくも試合終了。悔しい。

3女達、お前たちは強かったよ。本当に強かった。数々の名勝負、数々の感動、そして何より1番の財産はお前たち自身の経験とお前達に憧れて西武台に来た後輩達だ。ありがとう。



▲鬼攻めの小谷田青空(3年:所沢向陽中)



▲代表戦を制する福井萌夏(3年:川口芝東中)